



北海道日高高等学校

〒〇五五・一三〇七 北海道沙流郡  
日高町松風町一丁目一六番地の二  
<http://www.hokkaido-hidaka-hs.jp/>



# 令和2年度を振り返って

北海道日高高等学校長 谷 尊 仁

令和2年度を振り返ると、  
年度当初から新型コロナウイルス  
の間で学校として思いや  
その中で学校として「今で  
きることを最大限にやる」  
を合言葉に、生徒達が少  
しでも通常の学校生活を  
れるように教職員が頑張  
てくれたと思います。  
新型コロナウイルスの感  
染拡大は、学校生活や社会  
経済に大きな痛みを与え  
ました。年度は様々な御苦  
も今年度は様々な御苦勞が  
あつたことと思ひます。学  
校におきまして、数々の  
行事が中止や縮小されたこ  
とで、生徒を始め保護者の  
皆様に心残りの多い一年  
になりました。皆様の感染  
拡大防止への協力に心よ  
り感謝を申し上げます。  
ボランティア活動や町の  
行事が中止となり地域の  
方々との交流が出来なかつ  
たり、部の活動も中止  
にできるなど苦難がた  
訪れまます。その時に  
なげたいび

て立ち止まるのではなく、  
「どうやって乗り越えられ  
るだろうか？」という知恵  
を絞れるかが、本当の賢さ  
であり人の真価だと思ひま  
す。  
今後「新しい生活様  
式」を継続することなど、  
社会構造や価値観などが大  
きく変化することが予想さ  
れ、その変化に対応してい  
くことが強く求められてお  
ります。しかし、どんなに  
社会が変化しようとも、時  
代を超えて変わらない価値  
のあるもの、不易のものも  
あります。それは、豊か  
な人間性、正義感や公正さ  
を重んじる心、他人を思い  
やる心、自然を愛する心な  
ど、「人間としての在り  
方・生き方」に関わるもの  
でありまます。  
新型コロナウイルスの感  
染拡大防止を勧める中で、  
生徒達にはこの不易なもの  
の大切さを意識していただ  
くように指導してまいら  
す。令和3年度もまだ例  
年通りかと思ひます

が、一人ひとりの生徒が自  
分の将来に向けて成長して  
いけるように、教職員一同  
力を合わせて頑張つて参り  
ます。  
令和2年度の終わりにあ  
たり、皆様の学校へのご理  
解とご協力に教職員を代表  
して心より感謝を申し上げます。



卒業おめでとうございます！



最後のHRの様子

## 卒業を迎えて

三 学年担任 高橋 健一

四年前、本校着任早々三学年  
担任を預かり、学級テーマを  
『愛』に定め、感動の卒業式を  
迎へ、十名の卒業生を送り出し  
ました。そして、ホッと一息つ  
く間もなく、連続して一学年担  
任を務めさせていただくことと  
相成りました。一年次『信』、  
二年次『愛』を経て、三年次  
テーマは勿論、『愛』！これ  
は、三年前から予め決めていた  
ことでした。問題は、どういつ  
た過程を経て『愛』へと到達で  
きるか。僅か一年間だった  
前回とは違い、三年間の担任業  
務は、自問自答の旅でした。  
まずは結論から先に申し上げ  
ると、「超個人的」な生徒たち  
で溢れている本校のご多分に漏  
れず、実に個性的な十名の愛す  
べき生徒たちに囲まれ、「笑顔  
と元氣」が印象的な、楽しく充  
実した三年間でした。その辺の  
高校では決して味わうことので  
きない「日高高校ならでは」と  
いう、素敵な毎日と、生徒たち  
の成長ぶりを目の当たりにしな  
がら、気付けばあつという間に  
三年が経過していたという感想  
です。卒業式を終えた今は、生  
徒たちとの運命的な「出会い」  
に感謝の気持ちを抱かずには  
られません。その気持ちは、十  
名それぞれを大切に育ててこ

れた保護者の方々との「出会い」  
においても全く同様で、三年間と  
もにお子さまの成長を見守りなが  
ら、心温まる交流を重ねることが  
でき、誠に光栄でした。  
これまで三年間、学年通信で、  
『信』、『愛』、そして『愛』を  
テーマに、数多の文章を綴つて参  
りましたが、最後の最後に卒業生  
へ一言、贈る言葉を述べさせてい  
ただきます。自他への『愛』、家  
庭への『愛』、森羅万象自然へ  
の『愛』、仕事への『愛』を常に  
忘れず胸に抱き続け、一日一日、  
「一所懸命」に生活してください。  
その際のポイントは、「いかにマ  
イナスイメージを頭の中から消し  
去り、日々プラス思考で歩んでい  
けるかどうか」です。三年間言い  
続けてきた、「他人の悪口を言わ  
ない・書かない」ことは、これか  
らの人生においても大切な要素。  
ぜひ守り続けてください。日々プ  
ラス思考で、周囲の人びとと幸せ  
を共有しながら、今後の人生を明  
るく前向きに歩んでいって欲しい。  
そう願つてやみません。  
結びに、この日高高校が卒業生  
の皆さんにとって、心温まる「家  
庭」のような存在であったなら嬉  
しいです。「あなた方と出会えて  
本当に良かった！」。そして保  
護者の皆様、三年間大変お世話に  
なり、有難うございました。お子  
さまの更なる成長とご活躍を信じ  
卒業後も微力ながら応援させてい  
ただく所存です。「克己・継続・  
挑戦」！

令和2年度 学校評価(自己評価シート) NO1

令和3年2月26日

北海道日高高等学校

「達成状況」について、下記の4段階の数字で評価する。「改善の方策」と「自由記述」の欄

4段階 【4:大変よい 3:まあまあよい 2:あまりできていない 1:できていない】

Table with columns: 領域, 番号, 観点, H30, R1, 領域, R2, 領域, 改善の方策. Rows include categories like 経営管理, 教育計画, 学習指導, 総合的な学習の時間, 特別活動, 生徒指導, 健康安全指導, 進路指導, and 自由記述.

令和2年度 学校関係者評価 (学校運営協議会委員・PTA役員・教育振興会役員・同窓会役員)

評価基準 【4:大変よい 3:まあまあよい 2:あまりよくない 1:よくない】

領域	番号	観点	H30	R1	R2	領域	自由記述欄
地域連携	1	①学校は、PTA・振興会などの関係機関との連携を図り、教育活動や各種行事の円滑な運営につとめていると思いますか	3.6	3.7	3.4	3.4	○コロナ禍の関係もあり、会議等の開催も減り、関係者と生徒との交流機会が減った ○今年度はコロナの関係で判断できない
	2	②学校は、保護者や地域住民の要望や期待の把握につとめ、地域との連携が取れていると思いますか	3.5	3.5	3.2		
	3	③学校は日高町教育委員会産業学習グループとの連携が取れていると思いますか	3.6	3.6	3.5		
情報発信	4	①ホームページは見やすく、分かりやすいものになっていますか	3.7	3.6	3.5	3.5	○生徒募集の最大の情報発信となっており、その効果は大きい。 ○HPは見やすいが、いかに多くの方々に見てもらうかが今後の課題。 ○例えば、学級通信は毎週○曜日等、アップされる時期がわかるとよいと思います。 ○町教委も予算的にその確保に努めている。
	5	②ホームページの更新が定期的に行われ、学校の教育活動や生徒の取り組みが発信され、満足できるものですか	3.8	3.8	3.5		
	6	③学校案内パンフレットや学校通信は分かりやすく日高高校の情報を伝えるものになっていますか	3.5	3.3	3.6		
学習指導	7	①生徒の実態や能力、進路希望に応じた授業になるよう工夫していると思いますか	3.5	3.5	3.3	3.4	○コロナの影響で参観する機会がありませんでした。 ○基礎学力に幅がある生徒に対して工夫しながら進めていると思う。 ○どのような工夫を行っているのか知りたい。 ○判断する機会がなかった。 ○コロナの影響で参観する機会がありませんでした。 ○探究アワードに取り組み良かった。
	8	②基礎学力の定着につとめるとともに、課題解決能力の伸長を図る学習内容や評価方法などが展開されているか	3.5	3.3	3.4		
生徒指導・健康安全	9	①生徒の自己管理を促し自律を支援する中で、基本的な生活習慣の確立が図られているか。	3.3	3.3	3.2	3.2	○あきらめることなく、何度も何度も指導する中で、少しずつではあるが生徒は成長していると感じている。 ○判断する機会がない
	10	②学校は、生徒の頭髪や服装、あいさつや言葉遣いなどの礼儀を適切に指導していると思いますか	3.5	3.3	3.2		
	11	③学校は、教育相談や生徒理解の取り組みを充実させ、いじめなどの問題の早期発見と適切な対応に努めているか。	3.7	3.6	3.3		
進路指導	12	①学校は、3年間を見通した継続的な指導により、進路意識の醸成と高揚を図り、生徒一人ひとりの希望や能力に応じた進路指導に努めていると思いますか	3.7	3.7	3.6	3.6	○生徒数から個々に沿った指導がなされている。 ○親子話し合いシート以外、学校と生徒は定期的に話し合っているのか。 ○千露呂以外、具体的な物を見ないので内容がわからない。
	13	②学校は、進路指導体制の強化を図り、生徒や保護者に進路実現のための適切な情報提供を行っていますか	3.5	3.6	3.6		
その他	14	①保護者や地域住民に対して、部活動の休養日設定や学校閉庁日設定など、学校の働き方改革についての理解を深める取り組みを町教委と連携して取り組んでいると思いますか	—	3.3	3.5	3.3	○新聞等で情報を得ている。 ○判断する機会がない ○部活動の現在が全くわからない。 ○道内在住で数年前にたまたま見たニュースで印象に残った学校ですが、道内の方でも知らない方はたくさんいると思います。 ○特色ある学校なら、外へ発信すればする程印象に残ると思います。知ってもらうことは大事なので、この時勢で学校説明会は難しいと思いますが、個別リモート説明会や情報誌などへ写真掲載、HPでのよくある質問の回答の公開などあるとよいと思いました。 ○色々な形での情報公開を増やす。 ○寮生活の様子をもう少し具体的に公開できないか。どのような生活かわからないと学校に対しても不安を感じる。 ○せっかくスキーをするには最高の環境なのにもったいない。アウトドアクラスはもっと人気が出そう。もっと町ぐるみで取り組めばよい。 ○町内が年々人口減少する中、高校存続(若年層人口)の意義を住民に機会ある毎に知ってもらいたい。 ○町の広報に道立の富川高校の記事が載るが、町立の日高高校の記事を毎月掲載してもらいたい。 ○行事等への参加が少なく生徒たちの状況が見えにくい。
	15	②日高高校を存続していくための方策として、生徒募集方法や更なる地域連携、改善すべき点や伸ばしていくべき点はありませんか (記述のみ)					



# ありがとうございました

## ～離任者挨拶～

### 離任にあたり



教頭 近藤 伸

この度、令和3年度人事異動により北海道札幌丘珠高校に異動することになりました。平成30年度、日高高校には教頭として着任し、三年間お世話になりました。在職中には、創立七十周年記念行事や学校運営協議会（CS）の運営等に携わらせていただき、関係者の皆様には様々な場面で振り返ると、教頭として何もお返しできません。この三年間、任じましたが、この三年間、恵まれた上、良き職員集団に恵まれ、皆様に助けられながら楽しい日々を過ごることができました。行動力のある職員集団、夜は高校というハードなスケジュールというより、成長していく生徒たち、本当に感謝の気持ちになります。日高

高校の益々の発展を祈念し、離任のご挨拶とさせていただきます。三年間ありがとうございました。

### 【生徒の皆さんへ】

「現状で満足しない」「文句を言う前にやってみる」「感謝の気持ちを持つ」君たちなら必ずできるはずです。

### 離任のご挨拶



教諭 岩城 京佑

五年前、日高高校に来たときは、全てのことに緊張感を持っていました。正式に採用されて初めての夜間定時制高校、初めての札幌を離れての生活、初めての町民センターでの生活、初めての入講式、初めての入学式、入講式、初めての定通体連：全てが初めて、生徒たちとのかかわりも、毎日生徒が多かった。個性の強い

### ご挨拶



上席技師 佐々木 和彦

日高高校では、五年間勤務させてもらい、今年度で日高町役場を定年退職することになりました。無事定年

たら良いものか、戸惑う毎日でした。それでも、三年間で大きく成長していく生徒と共に格闘する中で、生徒から学ぶ機会が多くありました。また、多くの方にお世話になった五年間でもあり、また、同僚・上司の先生方、保護者の方々、日高町の「こうしたい」という我が儘を多く叶えさせてください。誠に感謝しております。四月からは、中標津高校で勤務することになりました。日高高校での学びを生きか、異動先でも日々の業務に邁進していきたく思います。五年間、本当にありがとうございました。



3/24 離任式の様子

お迎えられたのも皆様のおかげだと思っております。日高高校は私の母校です。木造で古く、冬は寒い旧校舎で心も強く育ててくれたわが母校で、定年退職は大変嬉しく思っています。五年前に着任した時は新校舎二年目で、旧校舎はまだ残っており、解体にも立ち会え、古い備品や机・椅子なども（少しサビシイ気持ちで）処理することが出来ました。日高高校創立七十周年記念行事にも参加できました。四月から日高町の再任用職員となり、他に移動することなく日高高校で勤務できることになりました。勤務できることになり、他に移す。初心に帰って後輩たちを温かく見守りながら、先方を指導しやすい環境を整備をし、日高高校がなごう層を発展させるようお願いしたいと思っております。最後に五年間大変お世話になりました。またこれからは、よろしくお願いいたします。

## 北海道日高等学校 令和2年度 進路実績

今年度卒業生は進学8名（私立大学4名・専修学校4名）、民間就職1名、未定1名となりました。合格・内定された皆さんおめでとうございます！  
また、過年度生1名が東北医科薬科大学・獨協医科大学の医学部に合格しました。ひとえに本人の努力によるものだと思います。本当におめでとうございます。

それぞれの新天地でのさらなる活躍に期待しています。  
(文責 小高)

### <進学>

学校名	合格者数 (進学者数)
千葉工業大学	1 (1)
東京電機大学	1 (1)
東北医科薬科大学 (※過年度生)	1 (1)
獨協医科大学 (※過年度生)	1 (0)
北海道科学大学	1 (1)
北海道文教大学	1 (1)
専修学校	1 (1)
神田外語学院	1 (1)
埼玉コンピュータ&医療事務専門学校	1 (1)
東京医学技術専門学校	1 (1)
みやざき林業大学校	1 (1)

### <就職>

企業名	内定者数 (就職者数)
就職	1 (1)
サンライズ工業株式会社 水海道工場	1 (1)